

11月19～24日2年理数科が
アメリカに研修
に行ってきました。
今回は3日目、4日目の様
子です。

COH★★★★



Duarte
High School★★★★



California
Science
Center★★★★



Natural
History
Museum★★★★



海外科学体験研修報告

シティ・オブ・ホープ(COH) ベックマン研究所

9月に来校された山口陽子先生が研究している施設です。

★生物の授業で習ったことと重なることがあり、非常に興味深かった。

★サンガー法の電気泳動の床が面白く、印象的だった。気づきたかった。

★実験に関わるすべての生命を制御する必要があるため動物の医者である獣医師も必要ことがわかりました。

★とても広く患者さんの身体だけでなく精神もケアするための施設がたくさんあり、医療はたくさんの方が繋がりがながら成り立っていることを感じることができました。

★英語で喋ることにチャレンジして質問しました。「薬ができるまでの平均の期間は？」「15年程度。基礎研究の段階で特許を取得するが、特許の有効期限は20年なので、薬が完成する頃には特許が切れてその瞬間から製薬会社が台頭する。」とのこと
★質量分析法の話やそれに関係する事柄を聞いた。予習した甲斐があった。それでも高度な難しいお話だった。日本語でも怪しい。

Duarte High School

地元高校生と交流。ポスターセッションはもちろん英語！

★初めての英語発表であがってしまったが、準備していたためかなりよくできた。

★生徒や職員からきかれた質問には答えれたと思うがやっぱりむずかしかった。交流会ではみんなノリがよくやっぱりアメリカだと感じた。

★日本語でポスターセッションをする時と違って英語でするのは普段よりも質問も回答も上手く出来なかった。英語でも安定して交流できるようにしたい。

【その他の研修場所】

カリフォルニア科学センター

ロサンゼルス郡立自然史博物館